

平成26年度奈良県森林審議会 林地開発審査部会議事要録

日時：平成26年9月4日(木)

午後2:30～午後3:30

場所：奈良県庁北分庁舎

3階 3A 会議室

- 1 開 会
- 2 挨拶 佐野森林整備課長より挨拶
森林審議会の規定第4条第4項 林地開発審査部会での審議案件である旨説明。
- 3 委員紹介
水本部会長 小森委員 田中委員 松村委員の出席及び岡崎委員の欠席を紹介
- 4 定数報告
委員5名中4名出席のため、半数を超えているので会議成立。
- 5 配付資料の確認
- 6 議長の選出
奈良県森林審議会規程第4条第3項の規定に基づき、議長は部会長が務める。
- 7 会議の公開
平成16年度の審議会において原則公開を決定し、特に非公開となる案件ではないため、公開とする。 傍聴者はなし。
- 8 議事録署名委員の指名
松村委員、小森委員を指名。
- 9 議事の進行
知事からの諮問案件は、第1号案件1件。
- 10 概要説明
事務局より概要説明
 - ・申請者：株式会社 平田建設 株式会社 正光
 - ・開発行為の目的：土石の採取、産業廃棄物の最終処分、産業廃棄物の中間処理
 - ・変更内容：採石区域の拡大(事業区域拡大に伴う開発行為に係る森林面積の増加)

1 1 質 疑

- ・松村委員) 調整池の基準は大丈夫か。
→事務局) 基準どおり計算されて設計されている。
- ・松村委員) 現地は確認しているか。
→事務局) 確認している。
- ・松村委員) 切土の後に土などを埋めるのではないか。
→事務局) 今回の変更許可申請では岩石採取となっている。残土を置くのなら変更許可申請が必要である。
- ・松村委員) 断面図の勾配が図面 1:1.0 ~ 1.8 と読み取りにくい、どう読んだら良いのか。
→事務局) 今回開発予定箇所での切土面から既開発区域の盛土面へすりつけるため幅のある勾配の数字が記載されている。
→事務局) 業者に切土部分と盛土へのすりつけ部分の2断面の縦断図の提出を求める。
- ・田中委員) 保全地域の植生はどうなっているのか。
→事務局) 広葉樹と一部人工林となっている。
- ・松村委員) 調整池の底の厚さは。
→事務局) 9 c mである。
- ・田中委員) 沈砂地の濁水対策はどのようにしているのか。
→事務局) 許可区域内に産廃処分場があるため、他部局が地下水のモニタリング調査をしている。濁水がでないよう沈砂地を設置している。
- ・松村委員) 濁水が発生した場合は。
→事務局) 濁水ができれば、地元から連絡がある。
- ・松村委員) 現地確認のモニタリングはどのようにするのか。
→事務局) 年に1度はヘリコプターで上空から確認する。また、当課は現場周辺の道路をよく利用するため、大きな変化があれば気付く。
他法令の採石法、廃掃法の担当部局と綿密に連携をとり、情報交換を行う。

1 2 採 決

- ・松村委員から質問の出た、縦断図については、業者より2断面の図面を提出させて事務局が確認することとし、「条件なし」で議決した。